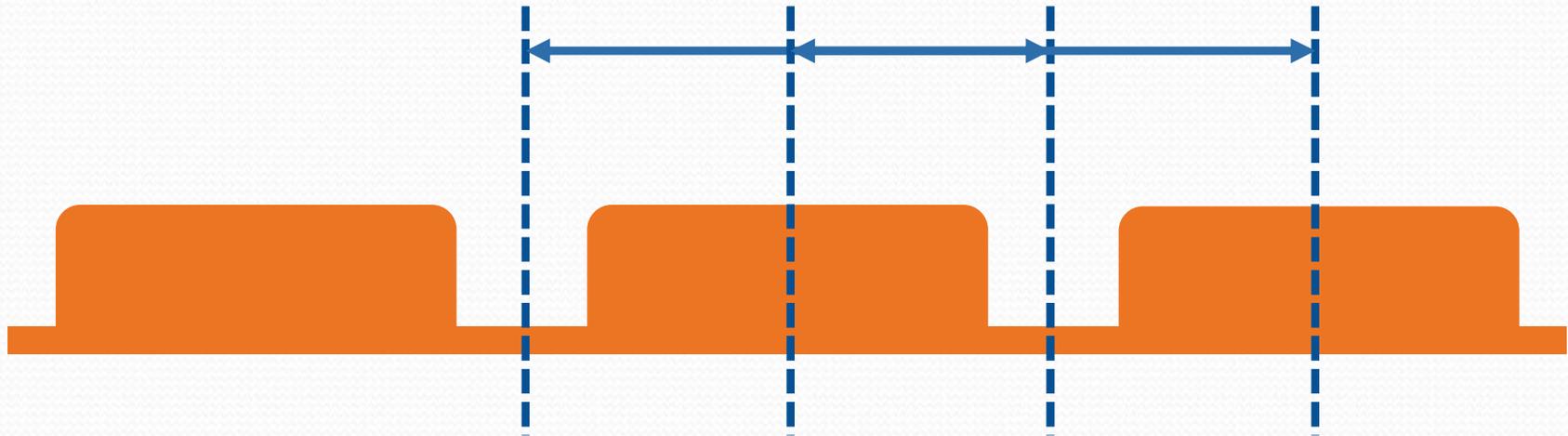


郷土の伝統 加賀野菜を育てよう

金沢市農業センター

はじめに（用語解説）

◆ 畝幅



- 通路の中心から次の通路の中心までを示す長さ

※畝自体の長さではない

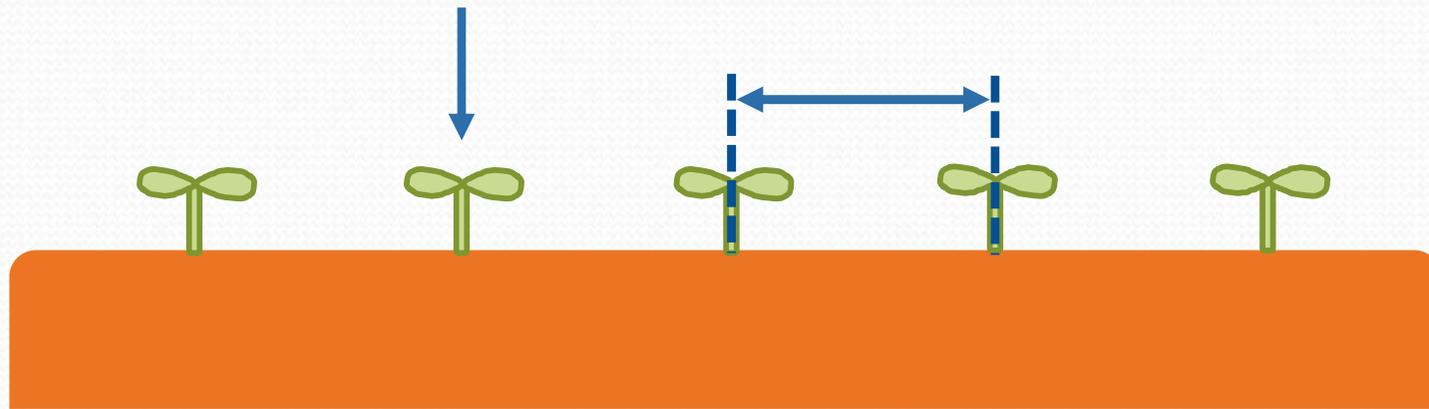
※畝の中心から次の畝の中心を示す場合も

◆ 条



- 野菜を植える列のこと。畝に対して1列に植えることを1条植えと呼ぶ。

◆ 株、株間



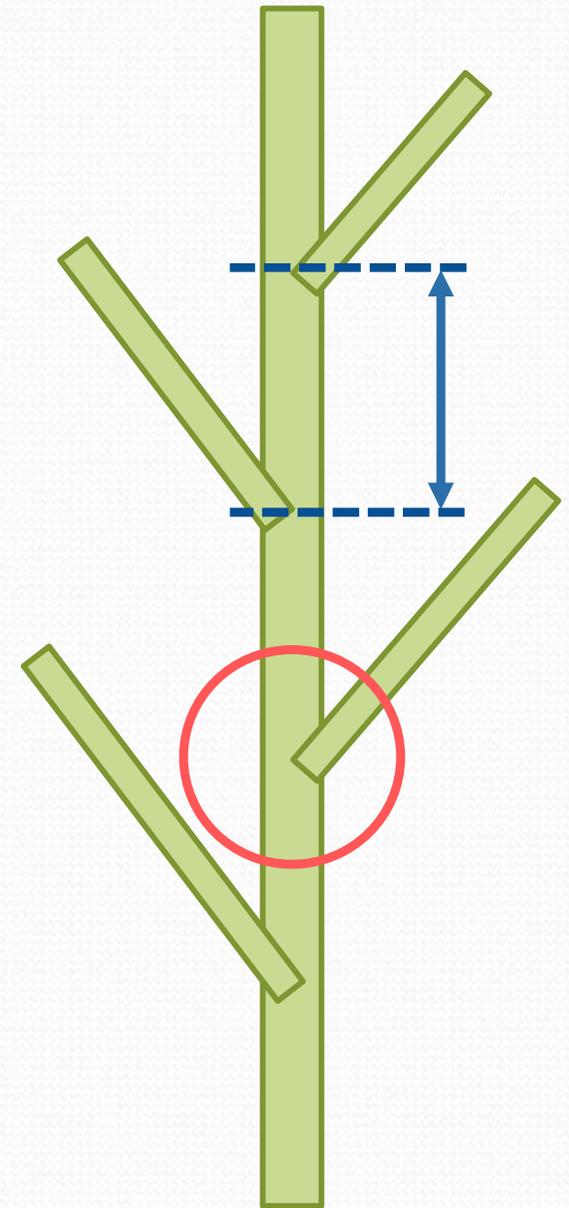
- 野菜のことを株と呼び、野菜と野菜の植えつける間隔を株間と呼ぶ。

◆ 節、節間

- 葉の生えている部分を節、節と節の間を節間と呼ぶ

※葉を1枚、2枚と数えるように、1節、2節と数える

※節数に子葉は含まない



「加賀野菜」について

加賀野菜って何？

→昭和20年以前から栽培され、現在も
主に金沢で栽培されている野菜



加賀野菜キャラクター
「ベジタン」

金沢市農産物ブランド協会が
認定しています！

(平成9年から認定、現在15品目)

加賀野菜 認定15品目

さつまいも



加賀れんこん



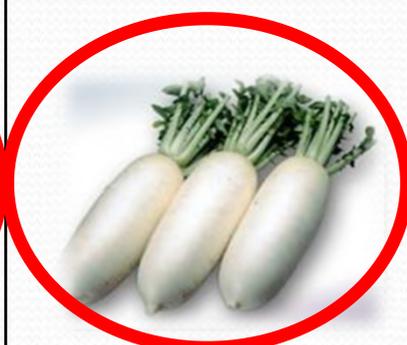
たけのこ



加賀太きゅうり



源助だいこん



金時草



打木赤皮
甘栗かぼちゃ



ヘタ紫なす



せり



金沢
一本太ねぎ



加賀つるまめ



二塚からしな



赤ずいき



くわい



金沢春菊



さつまいも

(ヒルガオ科 原産地：熱帯アメリカ)



○産地 粟五地区、大野地区、
大徳地区、内灘砂丘

○特徴 皮色は紅色
繊維質が比較的少ない
粉質系で甘さが強い

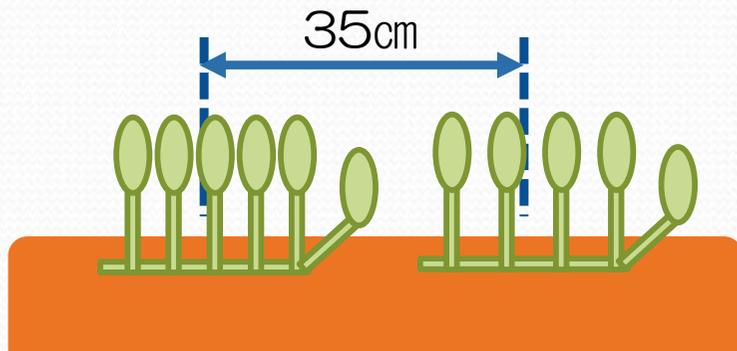
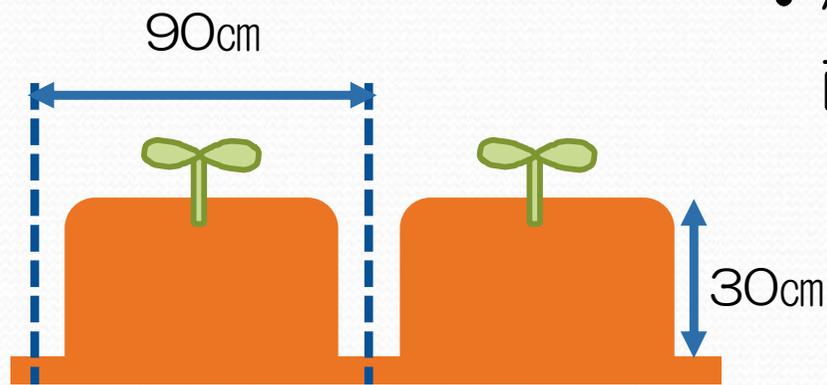
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業				植え付け				収穫				
				◎	◎							

1. 生育環境



- 生育適温：16～35℃
肥大適温：20～30℃
- pH：5.0～6.0

2. 畑の準備



- 植えつけする1週間前に施肥し、畝立てを行う

施肥例

堆肥	1kg/m ²
化成肥料 (8-8-8)	50~100g/m ²

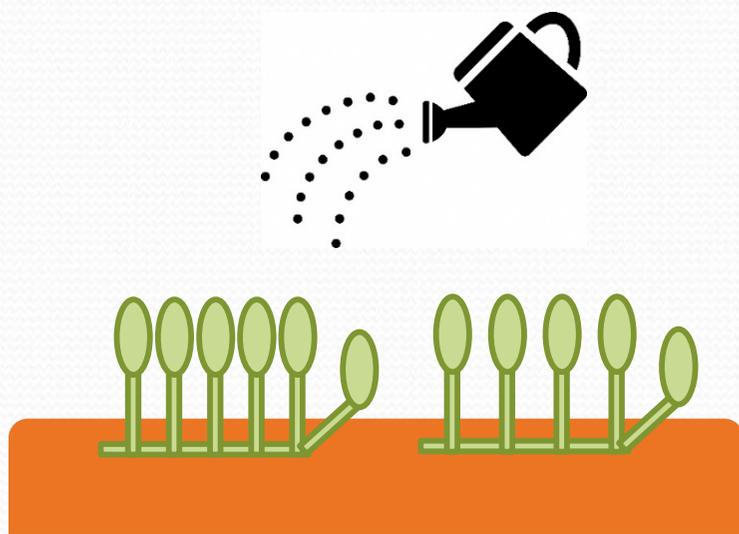
- 畝幅90cm、畝高30cm、株間35cm
 - 苗は、4節程度を土に埋め、葉が地上に出るように植える
- ※良い苗は、葉が7~8枚、草丈が25~30cm、重さ20g程度のもの

植え付けの方法



農林水産省HPから引用

3. 水やり、追肥



- 植えつけから苗が活着までは乾燥に注意
（ただし、やり過ぎにも注意）
- 追肥は基本的に行わない
（つるぼけ防止）

4. 収穫



- 植えつけ後、120日～150程度で
茎葉が黄色くなり始めたら収穫する

※収穫が早いと食味が悪く、
遅いと色や形が悪くなる



- 晴天の日にもを傷つけないように
行う。

源助だいこん

(アブラナ科 原産地：地中海沿岸・中央アジア)



○産地 安原地区、栗五地区、大野地区

○特徴 ずんぐりとした形状
肉質が柔らかいが、煮崩れしにくい

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業								種まき ○—○		収穫 ■		

1. 生育環境



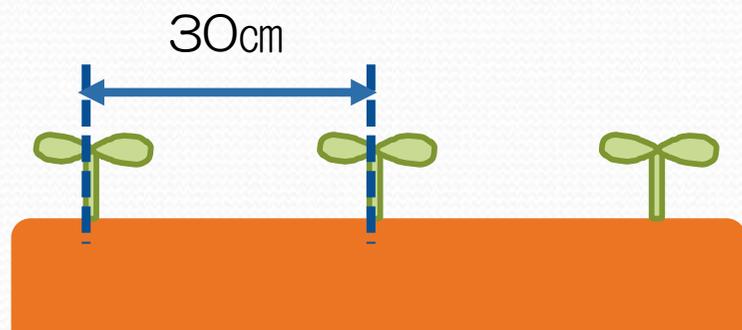
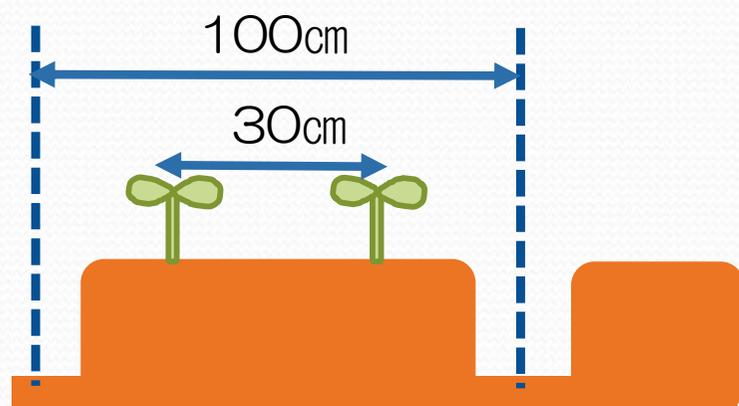
- 発芽適温：15~30℃
生育適温：15~20℃
根部肥大適温：20℃
- pH：5.5~6.8

2. 畑の準備、種まき

- 種まきする1週間前に施肥し、深く耕し、土を柔らかくする

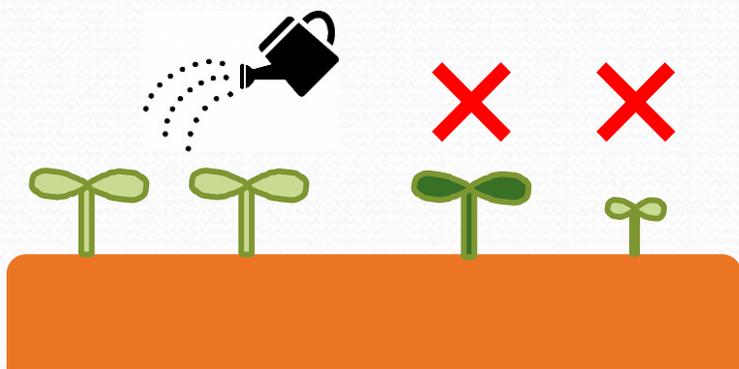
施肥例

堆肥	2kg/m ²
化成肥料 (8-8-8)	100g/m ²



- 畝幅100cm、条間30cm、株間30cm、2条点播き、1カ所2粒播き、覆土は1cm程度
- 種まき後、寒冷紗を20日間程度被覆

3. 水やり、間引き



- 水やりは、1回に行う水の量は少なめにし、日中の高温時にはできるだけしない

- 間引きは、本葉3～4枚時に子葉が正常なものを残す

※異常なもの

- …生育の遅いもの
- 葉及び胚軸の濃い・淡いもの
- 奇形葉のもの
- 病虫害のあるもの

4. 追肥

- 追肥は、1回目は条間、2回目以降は通路に行う



(目安)

回	時期	量
1	間引き時	化成肥料5g/m ²
2	種まき後 30日	化成肥料20g/m ²
3	種まき後 40日	化成肥料20g/m ²
4	種まき後 50日	化成肥料20g/m ²

5. 収穫



- 種まき後60日程度で収穫する
- 代表的な生理障害とその原因
 - 岐根 …種まき位置に近い場所での施肥、根の先端部が食害、枯死
 - 裂根 …乾燥状態が続いた後の降雨す入り…生育後半の高温、収穫遅れ

金時草 (キク科 原産地：インドネシア)



○産地 花園地区

○特徴 葉の表は濃緑色で、
裏は鮮やかな紫色
アントシアニンが豊富
ゆでるとぬめりがでる

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
作業					植え付け			収穫				
					◎——	[Blue bar]						

1. 生育環境



- 生育適温：20～25℃
- pH：6.0～6.5
- 一日の気温差が大きく、午前中だけ直射日光がさし、午後は日陰の環境が良い
(葉の裏の赤紫色がきれいに出る)

2. 苗作り



- 親株から挿し穂を調整する
葉を3枚以上残し、長さは10~15cm
程度で切り、葉は半分程度に切る



- セルトレイに土を詰め、散水して土を
湿らせてから挿し穂を挿す
挿し芽後、再度散水する

2. 苗作り

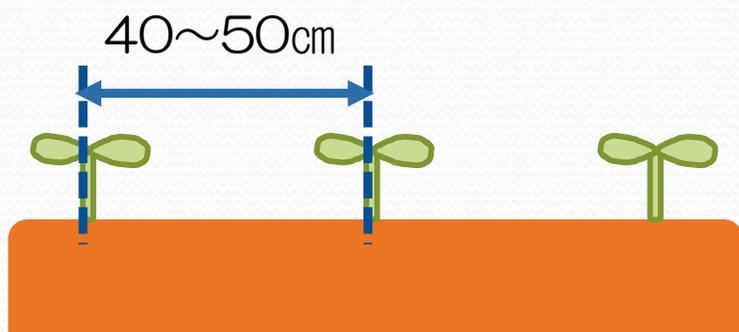
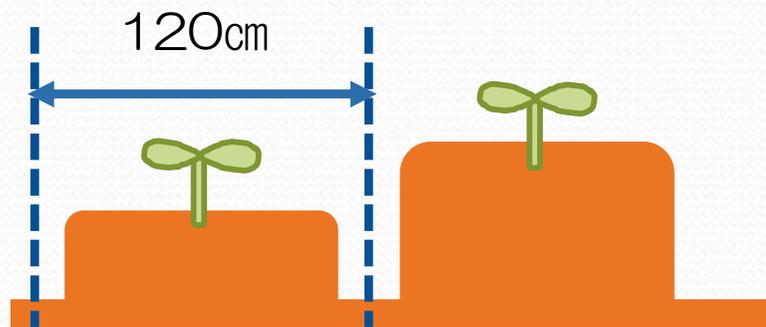


- トンネル+遮光ネットにより保温と保湿に努める
- 発根するまで（挿し芽後2週間程度）は遮光し、発根が確認できたら、日光に徐々に慣らす



- 挿し芽後4週間程度で苗ができる

3. 畑の準備



- 植えつけする1週間前に施肥

施肥例

堆肥	2kg/m ²
化成肥料 (8-8-8)	200g/m ²
重焼燐	30g/m ²

- 畝幅120cm、株間40~50cm、1条植えにし、深植えしない
※排水の悪いところは高畝にする

4. マルチ、敷きわら



- 植えつけ後、株の両側から通路を含めて全面にマルチをかける。
 - 梅雨入り前に株元に敷きわらを
する
- ※敷きわらはマルチ表面の温度上昇抑制と保湿のため

5. 追肥、水やり

- 追肥は、株元に行く

回	時期	量
1	植えつけ後 25日	化成肥料40g/m ²
2~	3~4週間毎	化成肥料40g/m ²

- 水やりは、土が乾燥したら行う



6. 収穫



- 草丈35~40cm程度になったものから2節残して収穫する
(定植後40日程度)

- 混みあってくるので、切り下げて太い枝のものを主枝とする



- 収穫は霜が降りる頃(11月)まで可能である

収穫が進んだ金時草の株



予備知識

◆ マルチ

- プラスチックフィルムやわら等で土壌表面を覆う資材。種類により様々な効果がある。

種 類	効 果			
	地温確保	保 湿	防 草	害虫予防
透明	◎	◎	—	—
黒	○	◎	◎	—
白黒	×	◎	◎	○
シルバー	×	◎	○	◎
敷きわら	×	◎	○	—

ご清聴ありがとうございました

